

369.76
0.73

財團法人
大阪府協和會
事業要覽
全會編
昭和十六年三月



0039280000

0039280-000

369.76-073ウ

財團法人大阪府協和會事業要覽

大阪府協和會

昭和16

AGI



和十六年三月

事業要覽

財團法人 大阪府協和會

369.76
0.73



大阪府協和會事業要覽





目次

- 一、大阪府協和會機構
- 二、大阪府下在住朝鮮人數
- 三、大阪市内支會及隣保館分布圖
- 四、大阪府下支會及隣保館分布圖
- 五、大阪府協和會豫算額卜府下在住者數
- 六、隣保館一覽表
- 七、支會一覽表
- 八、沿革
- 九、役員
- 一〇、財團法人大阪府協和會寄附行爲
- 一一、昭和十六年事業計畫
- 一二、昭和十六年度豫算

鶴橋隣保館



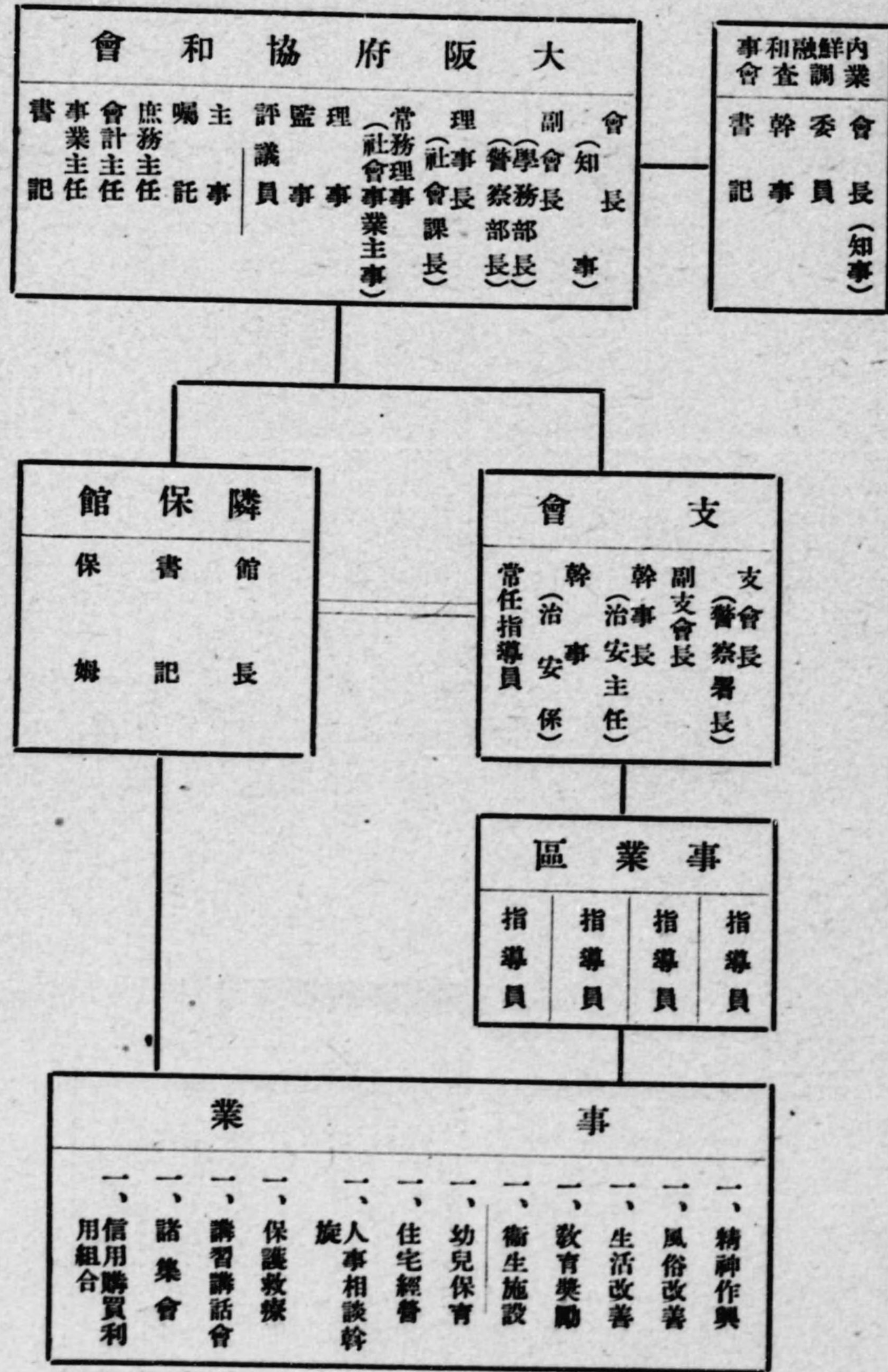
中本隣保館



改良住宅(中本)



大阪府協和會機構



國語講座



幼兒保育



青年訓練大會



支會一覽表

支會	事業區數	戶數	世帯數	會員數	役員數	常任指導員數	指導員數
福會	一〇	八二八	一、五三三	一〇、六二五	一〇	—	一六
天根	四	二五八	四四〇	二、四二六	九	—	一〇
芦原	五	二三一	四七九	二、四九〇	八	兼	八
難波	八	三七〇	八五一	四、五一六	七	兼	〇
戎	五	五五六	一、四一九	五、二〇二	八	兼	二〇
天玉	三	三七四	一、〇一二	四、一八九	七	兼	三
泉寺	五	一三八	一九一	九七二	九	兼	〇
築港	一〇	三三〇	二、二五一	一三、八四二	八	兼	六八
朝日	四	五九五	九七五	四、九四〇	八	兼	三二
市岡	五	九三四	一、三五四	九、六三七	八	兼	三五
九條	八	六五八	一、二七五	六、五二一	五	兼	四五
玉造	一	六五	一二六	七一六	五	兼	六
支會	三	四二〇	八五五	四、一七六	七	兼	三〇

支會	事業區數	戶數	世帯數	會員數	役員數	常任指導員數	指導員數
網島	八	一、七五〇	二、〇一七	九、八二八	一〇	兼	四二
今宮	二	二、五七三	二、八六三	一、九〇二	二	兼	五
阿野	三	二一七	二八二	一、一八〇	五	兼	九
住吉	三	一、〇三五	一、二五五	五、九九六	七	兼	三〇
鶴橋	一	四、九六八	一一、三一八	三七、一〇六	一五	兼	二〇
中津	六	三、〇四〇	四、八〇六	二七、三六〇	一四	兼	一〇
今福	八	二、〇四九	一、〇五九	一一、六七四	八	兼	五六
十津	一	一、五三八	二、二〇三	一一、六三四	八	兼	一九
柴橋	三	一、四四六	二、〇九六	一一、四五〇	〇	兼	二四
大和	八	九八四	一、三八〇	四、九二一	七	兼	二五
岸和	五	一、八八二	二、三八一	一〇、九二六	六	兼	一七
布田	四	一、四六三	一、六九二	八、六一五	四	兼	二八
額田	一	三、〇二〇	五九二	三、六九一	九	兼	二五
島田	五	八五六	九〇七	一五、八六二	六	兼	六五
船場	四	一八	一三	四、四三六	六	兼	一三
支會	六	八四	一一五	七二七	五	兼	二四

合	豐	津	柏	黑	長	大	三	福	高	茨	地
計	中	田	原	山	野	津	林	田	槻	木	黃
三九三	一一	三	四	五	四	四	五	五	五	一	六
四四、 五六五	五九八	九九	四七〇	一七三	一〇九	一〇六	四〇	二〇六	三〇一	四二五	四七
五八、 七四六三	六四七	一〇九	五二八	一七三	一一	一、一五一	四七	二一六	三八四	二八八	五四
三一、 七二一	三、 六三一	二、 六三〇	二、 七三〇	八〇一	五四一	五、 二二五	二一七	一、 〇〇四	一、 五〇五	一、 六五〇	三八四
四一九	七	四	一八	三	五	六	六	三	四	四	三
二五			一								
一、 三九二	一一	七	一五	一一	〇	〇	〇	〇	一三	一六	九

古	三	鳳	守	富	尾	市	枚	池	佐	四	平	吹	八	田	川	新
市	宅	口	林	崎	場	方	田	野	野	野	田	尾	邊	日	町	
二	八	七	一六	五	〇	四	六	一	〇	一	二	六	一	二	〇	五
七七	四一五	一六九	五三五	一六一	一五九	二四二	四四九	五〇六	二一八	一九四	一、 五五一	六二一	一、 二二一	一、 一八	一六	五一
八二	四七一	七二	一〇七	一九四	三〇六	四	五〇八	三四五	一六九	二一五	一、 六九八	六九九	一三八	一四三	一九	九二
三六六	二、 一〇二	八〇七	二、 七五九	八〇四	一、 二八八	一、 三三九	三、 一一五	二、 六〇七	一、 一三八	九四〇	七、 七八〇	三、 九七四	六、 四九三	七三五	一五五	五二四
五六	三	四	五	四	五	六	四	六	一	五	九	五	八	五	六	六
											一			兼		
一六	二四	〇	一六	一五	〇	一	二	二六	三〇	二八	一	二	三	三	二	四

同	十一月七日	堺橋風會設置	同	同	十三橋橋風會同
同	九月一日	網島橋風會同	同	同	中本橋保館新設
同	同	曾根崎橋風會同	同	同	十三橋保館同
同	同	福島橋風會同	同	同	此花橋保館同
同	十一月二十七日	九條橋風會同	同	同	大和田橋風會設置
同	十二年十二月一日	市岡橋風會同	同	同	港隣保館新設
同	同	朝日橋橋風會同	同	同	住吉橋風會設置
同	十二月十一日	今宮橋保館新設	同	同	岸和田橋風會設置
同	同	今福橋保館同	同	同	鶴橋、今福、此花、木津川、堺簡 易學校廢校
同	七月二十一日	額田橋風會設置	同	同	阿部野橋風會設置
同	十月一日	今福住宅新設	同	同	榮島橋風會同
同	同	今宮住宅同	同	同	難波橋風會同
同	同	中本住宅同	同	同	戎橋風會同
同	十二月一日	玉造橋風會設置	同	同	天王寺橋風會同
同	同	布施橋風會同	同	同	各橋風會名ヲ支會ト改ム
同	同	芹原橋風會同	同	同	田邊支會新設
同	同	築港橋風會同	同	同	島之内支會、川口支會設置
同	同	天滿橋風會同	同	同	

同	八月二十二日	八尾支會設置	同	同	古市支會設置
同	八月二十九日	船場支會、新町支會設置	同	同	長野支會設置
同	九月七日	平野支會設置	同	同	黒山支會、地黃支會設置
同	九月十四日	吹田支會設置	同	同	豊中支會、柏原支會設置
同	九月十五日	四條驛支會設置	同	同	茨木支會設置
同	九月十七日	池田支會、佐野支會設置	同	同	大津支會設置
同	九月十九日	枚方支會設置	同	同	高槻支會設置
同	九月二十日	市場支會、尾崎支會設置	同	同	福田支會、津田支會設置
同	九月二十一日	富田林支會設置	同	同	三林支會設置
同	九月二十五日	守口支會、嵐支會設置	同	同	港水上支會設置
同	九月二十八日	三宅支會設置	同	同	旭支會設置豫定

役員

會長	大阪府知事	三邊長治
副會長	大阪府學務部長	郡山義夫
理事	大阪府警察部長	齋藤亨
常務理事	大阪府社會課長	西田傳三郎
理事	大阪府社會事業主事	谷村靈真
理事	李王家御慶事記念會長	柳原吉兵衛
同	財團弘濟會長	小西久兵衛
同	大阪市助役	上山善治
同	大阪府社會部長	森下政一
同	大阪府特高課長	高木正明
同	大阪府特高課內詳保長	田代保雄
同	鶴橋第二方面常務委員	紀本善治郎
同	中津方面常務委員	木田繁三
同	大阪府屬	中尾義信

評議員	住友會社理事	小倉正恒
同	鴻池合名會社理事	江崎政忠
同	野村合名會社社長	野村德七
同	山口合名會社社長	山口吉郎兵衛
同	大阪商船株式會社社長	岡田永太郎
同	大日本紡績株式會社社長	小寺源吾
同	東洋紡績株式會社社長	庄司乙吉
同	株式會社大林組社長	大林義雄
同	尻崎汽船株式會社社長	尼崎伊三郎
同	日本生命保險株式會社社長	成瀬達
同	滿鮮貿易同業組合長	中田秀太郎
同	朝鮮物產協會理事	松浦瑛哉
同	大阪每日新聞社會事業團常任理事	西村真琴
同	朝日新聞社會事業團主事	濱田光雄
同	大阪國民勞動指導所長	山組一郎
同	長柄方面常務委員	尾長德太郎

同	泉尾方面常務委員	田中藤太郎
同	堺第四方面常務委員	里見源次郎
同	鯉江方面常務委員	中田隆造
同	生野方面常務委員	連憲一
同	財團法人啓明會會長	芳谷武雄
同	大阪府衛生課長	藤田茂尙
同	大阪府保安課長	緒方正太郎
同	大阪府建築課長	井上新二
同	大阪府刑事課長	保岡武久
同	大阪府職業課長	大
同	大阪府學務課長	大
同	大阪府保護課長	大
同	大阪市福利課長	古藤敏夫
同	大阪市督學課長	河盛安之介
同	堺市長	河盛安之介
同	岸和田市長	竹崎末吉
同	布施市長	鳥羽源四郎
同	大阪府社會事業主事	長部英三

同	同	小菅秀直	
同	同	秦秀夫	
同	同	河上正雄	
同	同	原正深	
同	同	福岡文平	
同	同	內藤庄平	
同	同	橫山格	
同	同	石黒立	
同	同	川端信治郎	
同	同	川種治郎	
同	同	中川種治郎	
同	同	陰下次郎	
同	同	川口警察署長	陰下次郎

財團法人大阪府協和會寄附行爲

大正十三年五月五日設立許可
昭和十五年九月十一日變更認可
昭和十五年六月十一日變更認可

一一

第一章 目的

第一條 本法人ハ大阪府下ニ在住スル朝鮮人ヲ保護シ生活ノ安定向上ヲ圖リ内鮮融和ノ實ヲ據クルヲ以テ目的トス

第二條 本法人ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

- 一、職業ノ紹介ヲナスコト
- 二、人事相談ニ應スルコト
- 三、實費宿泊ノ設備ヲナスコト
- 四、巡回救療ヲ行フコト
- 五、教育施設ヲ爲スコト
- 六、慰安娛樂ノ途ヲ講スルコト
- 七、講演會懇談會ヲ催スコト
- 八、其ノ他本法人ノ目的ヲ達スルタメ必要ナル事項

第二章 名稱及事務所

第三條 本法人ハ財團法人大阪府協和會ト稱ス

第四條 本法人ハ事務所ヲ當分ノ内大阪市東區大手前町大阪府廳内ニ置ク

第三章 資産及會計

第五條 本法人ノ資産ハ元内鮮協和會理事長ヨリ交付ヲ受ケタル寄附金參萬千四百圓トス

設立後受クルコトアルヘキ補助金品、事業及財産ヨリ生スル收入其ノ他ノ諸收入ハ總テ資産ニ繰入ルルモノトス

第六條 本法人ノ資産ハ國債證書若クハ確實ナル有價證券ヲ買入レ又ハ確實ナル銀行信用組合ニ預入シ之ヲ管理ス但シ必要ノ場合ニ於テハ理事會ノ決議ヲ經テ動産ヲ不動産ニ不動産ヲ動産ニ變更スルコトヲ得

第七條 本法人ノ經費ハ資産ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 本法人ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第九條 本法人ノ毎年度豫算ハ會計年度開始前理事會ノ議決ヲ經テ之ヲ定メ決算ハ其ノ年度終了後理事會ノ承認ヲ受ク

第四章 役員

第十條 本法人ニ左ノ役員ヲ置ク

- | | |
|-----|-----|
| 會長 | 一名 |
| 副會長 | 二名 |
| 理事 | 十名 |
| 監事 | 三名 |
| 評議員 | 若干名 |

第十一條 會長ニハ大阪府知事ノ職ニ在ル者副會長ニハ大阪府學務部長、大阪府警察部長ノ職ニ在ル者ヲ推戴ス

理事及監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ推薦ス理事中一名ヲ

理事長一名ヲ常務理事トシ理事ノ互選トス

第十二條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

理事長ハ本法人ヲ代表シ會務ヲ掌理シ理事會評議員會ノ議長トナルト共ニ會長副會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

常務理事ハ會ノ常務ヲ掌理シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十三條 評議員ハ當初ノ設立者之ヲ委嘱シ以後ニ於ケル缺員ノ補充及改選ノ場合ハ理事會ニ於テ之ヲ委嘱ス理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員ノ任期ハ二年トス但シ執レモ再選ヲ妨ケス

第十四條 役員ノ任期滿了ノ場合ニ於テ其ノ後任者ノ就職スル迄ハ前任者ニ於テ其ノ職務ヲ行フモノトス

役員缺員ノ場合ハ補充ヲナシ前任者ノ殘任期間在任ス第十五條 本法人ハ顧問若干名ヲ置クコトヲ得

一一

顧問ハ會長之ヲ委囑ス

第五章 理事會及評議員會

第十六條 理事會ハ毎年二回之ヲ開ク但シ會長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ臨時理事會ヲ開クコトヲ得
理事會ハ理事三分ノ二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一事項ニ關シ召集再開ノ場合ハ此ノ限ニ非ス
監事又ハ理事三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求アリタルトキハ會長ハ臨時理事會ヲ開クコトヲ要ス

理事會ノ召集開閉ハ會長之ヲ掌ル

第十七條 理事會ハ豫算決算其ノ他重要ナル事項ヲ議決ス

第十八條 理事會ノ議決ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十九條 評議員ハ會長ヨリ諮問ヲ受ケタル事項ヲ審議スルモノトス

評議員會ハ必要ニ應ジ開會ス

第十六條第四項第十八條ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

附 則

第二十條 本寄附行爲ハ出席理事三分ノ二以上ノ同意ヲ得主務官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十一條 本法人解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ハ理事會ノ議決ヲ經テ大阪府下ノ社會事業ニ寄附スルモノトス

昭和拾六年事業計畫

一、事業方針

有史以來ノ非常時局ニ直面シ一億同胞ガ眞ニ一體トナリ、不退轉ノ決意ヲ以テ時艱ヲ克服シ、國運ノ一大伸展ヲ期スベキ重大ナル時機ニ逢着セル今日、在住朝鮮同胞ノ同化ヲ基調トスル協和事業ノ使命愈々重キヲ加フルニ至レリ
殊ニ本府ニ於ケル協和事業ハ内地在住朝鮮人ノ三分ノ一ヲ占ムル關係上勢ヒ全國協和運動ノ中核體トナリ、率先シテ前進シ正シク強キ推進力トナリ、全國協和會員ヲシテ速カニ皇國臣民トシテ臣道實踐ニ邁進セシムベキ重大ナル責任ト使命ヲ有ス

而シテ此ノ使命達成ノ爲メ本會ニ於テハ機構ノ擴充ト施設ノ整備ヲ急ギ更ニ其ノ運用ヲ強化シツ、アリ、即チ昨年度ニ於テ三十支會ヲ増設シ府下警察署全般ニ涉リ支會網ヲ完成シ、在阪三十一萬餘ヲ直接之ガ指導下ニ置クト共ニ、紀元二千六百年記念事業トシテ計畫シタル中堅人物養成機關タル修養道場（協和會館）ノ建設モ着々進捗シツ、アリ

サレバ本年度ハ新設支會ノ狀況ト在住者ノ急激ナル増加ニ鑑ミ且社會狀勢ノ變遷ニ伴ヒ彼等ノ指導的立場ニアル有識者茲ニ青年層ノ高度指導訓練ニ重點ヲ置き、彼等ニ日本精神ノ眞髓ヲ理解咀嚼セシメ其ノ性格ヲ根本的ニ陶冶シテ一般會員ヲ率キテ共ニ臣道ヲ實踐シ大政ニ翼賛セシメンコトヲ期ス

一、事業計畫

一、一般事項

一、隣接府縣協和事業聯絡會

隣接府縣ノ協和事業プロツクヲ結成シ聯絡常會ヲ設置シ指導ノ統一徹底ヲ圖ル

二、大政翼賛運動トノ連繫

協和會員ヲ含ム町會、部落會ニ對シ指導體制ノ確立ヲ圖ル

三、協和事業推進隊ノ組織化

有識者、中堅指導員ヲ以テ協和事業ノ促進ヲ期スル協力隊ヲ組織セシム

四、協和事業後援團體ノ結成

朝鮮人使用工場主其ノ他有志ヲ以テ協和事業後援會ヲ組織セシメ内地人ノ本事業ニ對スル理解ト協力ヲ求ム

五、職員ノ充實

1、本部職員充實

2、常任指導員増加

3、婦人指導專務員設置

4、青年訓練教官囑託

二、會議

一、本部常會

常務理事ヲ議長トシ社會課、特高課ノ本會關係者及ビ本部職員ノ常會ヲ開キ、其ノ月實施シタル事業ノ成績ニ鑑

ミ翌月實施事業ノ種目並ニ實施方法ヲ協議シ、且本部事務ノ聯絡打合ヲ行フ

二、支會長會及幹事長會

重要事業ノ打合セ及ビ支會事業ノ相互聯絡ヲナス

三、隣保館長會

毎月一回開催、事務打合セ及ビ事業ノ研究ヲ行フ、會場ハ隣保館交互トス

三、研究會

一、常任指導員研究會

毎月一回、順番ニ支會事務所ニ於テ開催シ左記事項ヲ行フ

1、實施事業ニ關スル研究並ニ打合セ

2、事業實施狀況ノ相互發表

3、當番支會ノ狀況視察

二、隣保館事務研究會

年二回開催、事務ノ研究ヲ行フ

三、保育研究会

年二回開催、保育事業ニ關スル研究並ニ打合せヲ行フ

四、協和事業研究会

府下支會ヲ地區別ニ數箇ノブロックトナシ、幹事、隣保館職員ノ會合ヲ催シ概ネ左記ニ依リ事業ノ研究ヲ行フ、
會場ハ輪番トス

1、會場支會事業狀況發表

2、各支會提出研究問題ノ討議研究

3、會長諮問ニ對スル答申

4、會場支會ノ帳簿、行事、事業區狀況視察

四、講習會及講演會

一、指導員講習會

協和事業研究会(前掲)ノブロック毎ニ一回、指導員全員又ハ一部ヲ召集シ、指導員タルノ覺悟ヲ促シ指導ノ方法ヲ教示ス

二、中堅婦人養成講習會

三、大政翼賛指導

各支會婦人部ノ中堅タルベキ婦人養成ノ爲、家庭生活訓練ヲ行フ、會員豫定二〇〇名
各支會別ニ大政翼賛ニ關スル講話會ノ開催、町會、部落會トノ密接ナル聯絡ニヨリ本會員ニ對シ大政翼賛ノ道ヲ指導ス

五、青年指導

一、中堅青年養成講習會

1、優良青年二〇〇名ヲ選拔シ陸軍將校ヲ聘シテ講師トナシ軍事訓練ヲ施シ心身ヲ鍛練ス
(出來得レバ兵營生活ヲ行フ)

2、中堅青年工員二〇〇名宛ヲ協和會館ニ收容シ一ヶ月間ノ宿泊生活訓練ヲ行フ

二、青年訓練查閱

1、協和事業研究会ブロック別全青年教練指導查閱

2、全支會青年部員教練查閱大會開催

三、體育會

六、印刷物刊行

一、會報發行

隔月一回刊行、會員指導資料、本會各支會及ビ隣保館ノ事業狀況、會員ノ善行美談等ヲ掲載ス
各關係官廳、主要關係町會、指導員等へ無料配付ス

二、國語練習カード發行

七、表彰

一、模範指導員、青年部員等ノ個人表彰

二、優良事業區表彰

八、隣保館事業ノ強化

一、保育事業

會員幼兒ノ入所ヲ獎勵シ小學校入學ニ支障無キ様國語及ビ内地人生活様式ノ體得ニ力メ進ンデ其ノ家庭生活ヲ指導ス

之方爲左記施設ヲ講ズ

- 1、儀式 (四大節及靖國神社祭典當日)
- 2、神社參拜 (毎月一回)
- 3、講話會其ノ他 (陸海軍記念日)
- 4、お正月、雛祭、端午、七夕、盆祭等ノ行事

- 5、歌ト話ノ會、體育會 (隨時)
- 6、郊外保育(觀察、體鍊、交通訓練) (隨時)
- 7、映畫會其ノ他ノ娛樂會 (隨時)
- 8、母姉教育(母姉學校) (毎月一回)
- 9、家庭訪問 (毎月一回)
- 10、家庭遊戲ノ指導

二、教化

- 1、國語講習 (每週二回以上)
 - 2、作法、和服、調理、結髮等ノ婦人講習會 (毎月一回)
 - 3、男女青年修養講習會 (毎月一回)
 - 4、一般會員懇談會(男女別) (同)
 - 5、映畫會、講演會
 - 6、夏季學童復習會
 - 7、會員ノ修養、體育、娛樂及ビ町會行事ノ爲設備ノ開放
- 三、經濟指導

1、協和信用購買利用組合ノ活用ニヨリ

イ、貯金 報 國

ロ、産業資金ノ提供、住宅ノ供給

ハ、敬米思想ノ涵養

ニ、豫算生活ヘノ導入

四、相談 斡旋

1、生活、保健、教育、住宅等ノ相談斡旋

2、結婚、葬儀、戸籍手續等ノ斡旋

3、代讀、代筆、代辯

五、住宅ヲ中心トスル隣組ノ指導

1、清潔法ノ厲行

2、生活様式ノ内地化

3、常識ノ涵養

4、親睦 互助

5、隣組常會ノ指導

六、防空防護ノ指導

六、救 護

1、無 料 診 療

2、無料診療券交付

3、歳末厚生運動

九、視 察

一、職員朝鮮視察

二、支會役員朝鮮視察

三、指導員青年部員ノ東京見學及朝鮮視察

一〇、施設 擴充

一、協和會館建設、事業開始

二、隣保館増設、事業開始

昭和十六年度豫算
經常費歳入之部

科	款	項	目	本年 度 豫 算 高	前 年 度 豫 算 高	比		備 考
						增	減	
事業收入								
	保育料			11,000	11,000	0	0	
		住宅料		3,000	3,000	0	0	
		住宅收入		3,000	3,000	0	0	
			預金利息	3,000	3,000	0	0	
資産收入								
				3,500	3,500	0	0	
				3,500	3,500	0	0	
				3,500	3,500	0	0	

科	款	項	目	本部費	本年度		前年度		比較	備考
					預算	高	預算	高		
		事務費			1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
		需用費	諸給與		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000		

經常費歲出之部

經常部	計	繰越金	
		繰越金	繰越金
	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	1,000,000	1,000,000	1,000,000

雜收入	寄附金	補助成並	補助成並	補助成並	補助成並	補助成並	補助成並	補助成並	補助成並
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

臨時部	計			
	豫備費	設備費	附屬工事費	建築費
	10,000	10,000	10,000	110,000
	110,000			

臨時費歲出之部

款	項	目	會館建設費	會館建設費	會館建設費	豫算高	備	考
					60,000			
					100,000			
					110,000			

臨時部	計			
	寄附金	寄附金	寄附金	補助金
	100,000	100,000	100,000	110,000
	110,000			



昭和十六年九月拾壹日

製本控

9/12	函	199	號	年	月	日
財團法人 大阪府協和會 事業要覽						
昭和十六年三月 大阪府協和會編						
備	考					

昭和十六年三月二十五日印刷
昭和十六年三月三十一日發行

編輯者 財團法人大阪府協和會
發行者 財團法人大阪府協和會
印刷者 大阪府北區藤崎町一八 中井 藤 藏



Handwritten Japanese text on a small rectangular slip of paper, including the number '1916' and other illegible characters.

昭和十六年三月二十五日印刷
昭和十六年三月三十一日發行

編輯兼 財團法人大阪府協和會
發行者

印刷者 大坂市北區藤崎町一八 中井 藤藏

印刷所 大坂市北區藤崎町一八 大坂出版堂
電話番號 二四四二番

369.76
0.73

